

交換留学(派遣) 帰国報告書

皆さんが無事留学を終えられたことを嬉しく思います。本報告書は以下の目的のために使用されます。

- ① 皆さんの留学に関する状況を把握するための資料です。
- ② 今後、交換留学プログラムを改善するための重要な資料となります。
- ③ 留学を考えている後輩達のための有益な資料となります。留学経験を共有するために、ぜひご協力ください。

本報告書は帰国後、1ヶ月以内に写真データと一緒にメールで提出してください。



あなたの情報(本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません)	
氏名:	
学籍番号	
メールアドレス:	
留学先大学:	ウィーン経済経営大学
留学先での所属学部・研究科:	
留学先での在籍身分:	Bachelor
留学期間:	2022/9/1~2023/6/23
神戸大学での所属学部/研究科:	経営学部
学年(出発時):	3回生
帰国日:	2023/6/24
本報告書記入日:	2023/6/27

1. 留学先大学について	
1-1	<p>受入許可書(Acceptance Letter)を貰えた日 5月 9日</p> <p>参加必須のオリエンテーション日 9月 15日</p> <p>学期: ① 10月 1日~ 1月 30日 ② 2月 28日~ 6月 30日 ③ 月 日~ 月 日 ④ 月 日~ 月 日</p>
1-2	留学先大学の特長、人気のある分野等について記入ください。マーケティングは世界でも有名な大学だった。ブロックチェーンやスタートアップの授業も多い。授業はほとんどが少人数(20人程度)の形式
1-3	<p>留学先大学のサポートについて記入ください。</p> <p>語学面でのサポート: ドイツ語の授業は有料だが受けられる。また、タンデム制度というlanguage partnerのシステムがある。</p> <p>勉強面でのサポート: 特になし</p> <p>精神面でのサポート: 特になし</p> <p>住居・生活面でのサポート: ビザの申請の手続きについては必要書類のチェックなどのサポートが手厚い</p> <p>課外活動のサポート: 特になし</p>

2. 住居について	
2-1	住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。(気を付けること等) OEADという団体が運営している学生寮に入る。申し込みは5月に始まるため早くから調べる必要がある。OEADのサイトには周辺の治安の情報はないため、自身で調べるべき。

3. 生活について	
3-1	<p>インターネット接続環境について</p> <p>住居内のインターネット接続可否、プロバイダー、料金等について記入してください。 接続可能、良好。寮の家賃に含まれていたため、別途支払っていない。</p> <p>大学内のインターネット接続可否(wi-fi)等について記入してください。 接続可能、良好</p>
3-2	医療について 留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。また、健康管理や衛生面について特に注意すべき点について 2度受診した。医療費はそれぞれ100ユーロほどしたが加入していた保険が後に返済してくれた。
3-3	銀行口座等について 留学先でお金を引き出す為にどんな準備・手続きをしましたか。(現地口座開設、キャッシュサポート等) 現地口座(Erste Bank)を開設。ビザ申請の際に現地口座の開設とそこへ滞在期間分の生活費(10ヶ月で10,000ユーロほど)の前払いを要求されたためそこからお金を引き出して生活していた。

4. 経費について(奨学金、留学費用)	
4-1	<p>奨学金を受給していた場合、奨学金名(財団名等): JASSO</p> <p>支給額(円/月): 80,000円/月</p> <p>その他(渡航費等の支給):</p>
4-2	留学期間を通して必要だった費用を記入してください。(概算で結構ですので、円価で記入してください。)
	航空運賃: 15万円
	住居費: (月額) 80,000円 × (留学月数) 10ヵ月 = 800,000円*
	食費: (月額) 15,000円 × (留学月数) 10ヵ月 = 150,000円
	保険料: (月額) 12,000円 × (留学月数) 10ヵ月 = 120,000円
	その他: 300,000円
	合計(留学期間全体の費用): 1,600,000円

5. 異文化体験について	
5-1	<p>留学先の文化・社会(習慣の違い等)について記入してください。 時間にゆとりのある人が多い、個人主義</p> <p>大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトを持ちましたか。 特になし</p> <p>課外活動(ボランティア、インターンシップ、アルバイト等)はしましたか。 していない</p> <p>留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。(安全性、外国人への態度等) 安全性は高く住みやすいが、外国人に対して排他的な態度を示す人が多い。</p>

6. 就職活動について	
6-1	留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、どんなことをしたか教えてください。 オンラインで国内選考を受ける、ボストンキャリアフォーラムに参加する

7. アドバイス、振り返り		
7-1	現地で参考となった留学先国の情報(出版物、ホームページ)を記入してください。	日本人留学生のブログ記事
7-2	現地では手に入らない物、日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。	就活関連グッズ、インスタントの味噌汁など
7-3	留学することによって得られたことについて記入してください。(語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等)	英語力、異文化に対する理解、自分がどういう人間かという自覚、キャリアへの考え方の広がり
	語学力について、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。	留学前:(95) 点 → 帰国後:(受験していない) 点
7-4	振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。	共用キッチンで鍋を燃やした事
7-5	留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。	適切だった
7-6	本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。	薦める。KIBER プログラムでは、留学準備を1年間かけて行えるため留学をより実りのあるものに行えると思うから。また、提携校も自分の学びたい科目が多数あったため自身の目的に合った留学ができたと思うから。
7-7	留学全体を振り返って、以下の質問に教えてください。	(5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価)
	・留学先大学の授業の「質」(内容、レベル等)に満足しましたか	5
	・留学先大学の学生サービスに満足しましたか	5
	・留学先の住み心地(安全性等)に満足しましたか	3
	・住居の「質」(広さ、料金等)に満足しましたか	5
	・全体として留学に係る費用は安かったと思ひ、満足しましたか	2
	・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか	5
	・留学全体の総合的な評価	5

8. その他感想、後輩へのメッセージ等を自由に記載してください。(800字～)

わたしは留学をして本当に良かったと思う理由は二つあります。1つ目は自身のキャリアが明確になったからです。ちょうど就活をしながら留学をしていたため、自身のキャリアを考えそれを留学先で出会った友達に話すことも多かったです。その中で各国の働き方やキャリアへの考え方を知ることができたり、学生のうちからキャリアを見据えて活動したり勉強している友達を見て大変刺激を受けたりしました。それと同時に、将来はこういう人たちと渡り合って働いていきたいと強く思うようになりました。それまでは漠然と海外に関係する仕事に就きたいなと思っていただけでしたが、それが具体的な目標に変わりました。2つ目の理由は、生きる力がついたからです。オーストリアという未知の世界で10ヶ月生活をする中で、今まで以上に自分で調べて計画を立て行動するようになりました。また、わからないことやトラブルにも対応できるようになり問題解決力も身についたと思います。留学というと、語学や勉強面に意識が向きがちですが、精神面も非常に鍛えられる素晴らしい機会だと思います。

3つ目の理由は、日本や今までの常識を見直すことができるからです。私は留学するまで地元を出たことがなく、生まれ育った環境が当たり前だと思っていました。しかし、オーストリアにきて今までの常識が通じないことが多々ありました。それを尊重することや自身が揺るがしたくないことははっきりと伝えるということも学びました。自身がマイノリティの環境に身を置くことで大変なこともありましたが、違いを理解したり自分から発信する大切さを実感することができました。

最後に留学を考えている皆さんへ伝えたいことは、どんな留學生活をしたいのか、留学を通してなにを実現したいのか明確なビジョンを持つておくことが大切だということです。留学のスタイルは留學生の友達を見ていると本当に様々です。人と比べる必要も周りと同じような生活を送る必要もありません。しかし、一つでもいいから目標を設定しておく留学してから不安になったり自信をなくしても自分の指標としていけると思います。楽しいことも苦勞することもたくさんありますが、終わってから留学して良かったと心から思うので勇気を出してチャレンジしてみてください。

9. 留学経験の共有について

あなた自身の写真や大学キャンパス等の写真があれば、ぜひ報告書と共にGEMsにアップロードしてください！

もしあなたと同じ大学(国)に留学する神戸大学の学生があなたと連絡を取りたい場合、あなたのメールアドレスを学生に伝えることに同意しますか？	はい
同意する場合、連絡可能なメールアドレス:	

1-4 近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数/週	留学先での単位数	授業での使用言語	履修している学生数	予習、復習、テスト等の成績評価についてアドバイスも含めて教えてください
1	Leading Globally	Manfred Hückel	2h/week	6	English	30	予習復習は必要ないが、essay1回、スピーチ動画を1回提出する必要がある。また、最終授業ではディベートを行いロールプレイを行った。
2	Designing Your Career in International Business	Dipl.-Komm.-Wirt/in Bettina Wertheim	2h/week	6	English	22	予習復習は得意必要のない自己啓発のような授業だった。授業後に毎回課題があるのでそれを提出するのみ
3	Managing for Tomorrow: The Sustainability Puzzle	Alice Schmidt, Claudia Winkler	2h/week	6	English	15	2週間の集中プログラムだった。企業訪問をしたり週末はウィーン近郊にday tripにいたり非常に楽しいプログラムだった。予習復習は得意必要ではないが、1週間で30分のプレゼンテーションを準備しないとイケない。グループワークをちゃんとこなせば成績はもらえる。

・授業(カリキュラム等)について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

Leading Globally: レッドブルの元マーケティング責任者の方が講師で、リーダーとしてのマネジメント方法や交渉の方法を経験を交えて講義をされた。非常に活発なクラスだったため、発言をしないと逆に目立つ。最終授業にロールプレイ形式のディベートが意見や主張が飛び交う雰囲気印象に残っている。クラスのサイズ、成績評価は上記参照

Designing Your Career in International Business: 外部の講師を招いての授業。自身の生活や目標の立て方、キャリアの実現方法などを学んだ。クラスのサイズ、成績評価は上記参照

Managing for Tomorrow: イリノイ大学とのジョイントプログラム。イリノイ大学の学生は2週間ウィーンに滞在し一緒に授業を受けたり遠足に行ったりした。留学生以外のアメリカの学生と交流できたのは非常にいい機会だったし、イリノイ大学が遠足やその期間の学食の費用をすべて負担してくれたのでラッキーだった。申し込みは通常の履修登録の方法で行える。